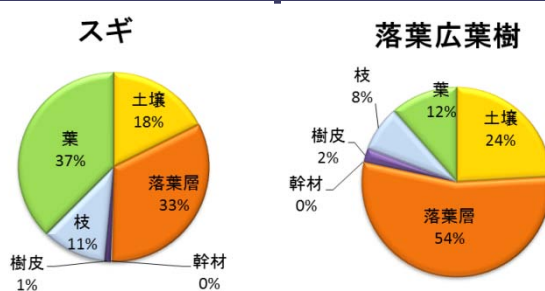


森林に降った放射性物質



森林内の放射性セシウムの分布

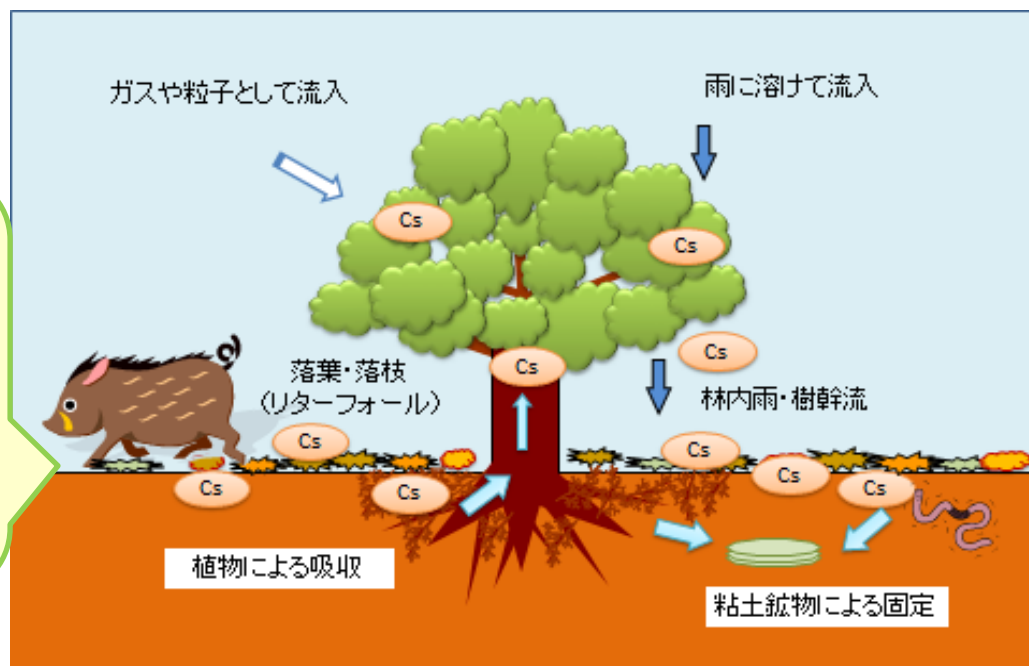
東京電力福島第一原子力発電所事故では、周辺の森林が広範囲に放射性物質で汚染されました。この森林の放射能汚染の実態調査の結果をお話しします。

森林に長期間留まる放射性セシウム

東京電力福島第一原発事故によって、周辺の森林が放射性セシウム（以下、セシウムと略）で汚染されました。2011年夏に福島県内の森林で放射能汚染の実態調査を行ったところ、セシウムの汚染程度は地域で大きく異なることや、森林タイプによって、森林内でのセシウムの分布状況が異なることが明らかになりました。スギ林では森林全体の約半分のセシウムが葉や枝に分布し、残りの半分が落葉層や土壌に分布していたのに対して、落葉広葉樹林では落葉層や土壌に大部分のセシウムが分布していました。

森林のセシウムの分布は時間の経過とともに変化していきます。樹木に付着したセシウムは雨や落葉で林床に移動し、さらに有機物分解で土壌に移動していきます。多くのセシウムは土壌中の粘土によって固定され、一部が樹木によって吸収されます。このようにして、セシウムは森林内の長期間留まる予想されることから、これからも継続して調査を行うことが必要です。

森林に降下した放射性セシウムは時間とともに分布の状況を変えていきます。



森林内における放射性セシウムの動態